第 6 講 【系統地理編】農林水産業，食料問題
PART 3 農産物の貿易

Chapter 1　穀物の貿易

目標
商品作物としての性格が強い穀物を知ろう。
トウモロコシと大豆の用途における共通点を知ろう。

1 三大穀物と大豆

・三大穀物とは，生産量の多い**小麦**，**米**，〔　　　　　　　　　　〕を指す。

穀物の種類	生産量	生育環境など
小麦	約8億t	原産地は西アジア。生育期に**冷涼湿潤**，成熟期に**温暖乾燥**の自然環境に適する。
米	約8億t	原産地は東〜南アジア。**高温多雨**の自然環境に適する。
トウモロコシ	約11億t	原産地は中央・南アメリカ。米と小麦の中間的な性質。
大豆	約3億t	原産地は東アジア。環境への適応力が高く，短期間で実る。

2 小麦の貿易

・生産量の**2〜3割**が輸出され，**商品作物**としての性格が強い。
・**新大陸**や**ウクライナ**で企業的で大規模な小麦栽培が行われている。
・主な輸出国は**先進国**であり，輸入国は**発展途上国**が多い。
・〔　　　　　　〕と〔　　　　　　〕があり，年間を通じて世界中のどこかで収穫される。

＜小麦の生産と貿易（2019 年）＞

	生産国（%）	輸出国（%）	輸入国（%）
1位	中国（17.4）	ロシア（17.8）	インドネシア（6.1）
2位	インド（13.5）	アメリカ合衆国（15.1）	エジプト（5.8）
3位	ロシア（9.7）	カナダ（12.7）	トルコ（5.6）

(統計は全て『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成。)

3　米の貿易

・〔　　　　　　　　　　　　〕が主生産地。零細な**家族経営**の農家によって**自給的**に栽培される。

・収穫量の多くが国内で消費され，輸出されるのは生産量のごく一部である。

＜米の生産と貿易（2019 年）＞

	生産国（%）	輸出国（%）	輸入国（%）
1位	中国（27.7）	インド（23.0）	フィリピン（6.7）
2位	インド（23.5）	タイ（16.2）	中国（5.5）
3位	インドネシア（7.2）	ベトナム（12.9）	ベナン（3.4）

4　トウモロコシの貿易

・主に〔　　　　　〕用に生産され，総生産のうち輸出されるのは **1 ～ 2 割**程度である。

・近年は〔　　　　　　　　　　　　　　〕生産のため需要が拡大している。

＜トウモロコシの生産と貿易（2019 年）＞

	生産国（%）	輸出国（%）	輸入国（%）
1位	アメリカ合衆国（30.2）	ブラジル（23.3）	日本（8.8）
2位	中国（22.7）	アメリカ合衆国（22.6）	メキシコ（8.5）
3位	ブラジル（8.8）	アルゼンチン（19.6）	ベトナム（6.3）

5　大豆の貿易

・総生産のうち，約 **4 割**が輸出され，**飼料**や**植物油脂**として使用される。

・経済成長により〔　　　　　〕での需要が増え，〔　　　　　　　　　〕での生産が拡大。耕地の拡大による**熱帯林**の伐採が問題になっている。

＜大豆の生産と貿易（2019 年）＞

	生産国（%）	輸出国（%）	輸入国（%）
1位	ブラジル（34.2）	ブラジル（47.7）	中国（58.4）
2位	アメリカ合衆国（29.0）	アメリカ合衆国（33.7）	メキシコ（3.2）
3位	アルゼンチン（16.6）	アルゼンチン（6.5）	アルゼンチン（3.0）

まとめ

小麦や大豆。それぞれ生産量の 2 ～ 3 割，約 4 割が輸出される。
飼料など食用以外の用途があり，その需要が増している。

Chapter 2　肉類・野菜・商品作物の貿易

目標　牛肉の生産量の多い国の特徴を理解しよう。
日本にニュージーランド産のカボチャが多く輸入される理由を考えよう。

1　肉類の貿易

1. 牛肉の貿易

・〔　　　　　〕の主な生産国は**アメリカ合衆国**や**ブラジル**。

→農業の難しい，半乾燥地域を中心に発展。〔　　　　　　　〕の発達とともに，新大陸の**企業的牧畜地域**で肉牛の飼育が拡大。

・主な輸出国は**ブラジル**や〔　　　　　　　　　　　　　　〕など。

・主な輸入国は**中国**や**アメリカ合衆国**。近年は発展途上国でも畜産物の需要が急速に拡大。

・〔　　　　　　　〕では牛の飼育頭数は多いが，牛を神聖な存在とする**ヒンドゥー教徒**が多いため牛肉の生産は少ない。一方，**牛乳**や**乳製品**の生産は盛んで，**水牛**の飼育頭数も多いのが特徴である。

＜牛肉の生産と貿易（2019年）＞

	飼育頭数の多い国	牛肉		
		生産国（%）	輸出国（%）	輸入国（%）
1位	ブラジル	アメリカ合衆国 (18.1)	ブラジル (16.7)	中国 (17.4)
2位	インド	ブラジル (14.9)	オーストラリア (13.9)	アメリカ合衆国 (10.2)
3位	アメリカ合衆国	中国 (8.7)	アメリカ合衆国 (10.3)	日本 (6.4)
4位	中国	アルゼンチン (4.6)	アルゼンチン (6.0)	韓国 (4.6)
5位	エチオピア	オーストラリア (3.4)	オランダ (5.2)	オランダ (4.4)

(統計は全て，『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成。)

2. 豚肉・羊肉・鶏肉の貿易

・豚の飼育頭数最多は**中国**だが，輸出量は**デンマーク**をはじめヨーロッパが多い。

・**羊**は乾燥地域で飼育され，貿易量は少ない。

・日本は〔　　　　　　　　　〕から多くの鶏肉を輸入している。

2 野菜・花卉の貿易

・〔　　　　〕や**花卉**の貿易は**鮮度**が重要。

　→近年の**鮮度保持・輸送技術**の向上により，国際的な貿易量が増加。

・特に，重量当たりの単価が高い品目や**花卉**は，**航空機**による輸送も行われている。

　→〔　　　　　　〕から**ヨーロッパ**への花卉輸出など。

・南半球で栽培された野菜は，北半球の〔　　　　　　〕に輸出することができる。

　→**カボチャ**は夏野菜であるため，日本の冬には**ニュージーランド**などから輸入されたカボチャが市場に出回る。

3 商品作物の貿易

・**商品作物**とは，輸出を目的につくられる農作物。嗜好品が多く含まれる。

・商品作物は〔　　　　　　　　　　　　　　　〕で**単一耕作**されている場合が多い。

・国内消費量が少ないため，生産上位国と輸出上位国が多く重なっている。

＜コーヒー豆・カカオの生産と輸出（2019 年）＞

	コーヒー豆		カカオ	
	生産国（%）	輸出国（%）	生産国（%）	輸出国（%）
1位	ブラジル (30.0)	ブラジル (28.3)	コートジボワール (39.0)	コートジボワール (39.5)
2位	ベトナム (16.8)	ベトナム (17.9)	ガーナ (14.5)	ガーナ (15.7)
3位	コロンビア (8.8)	コロンビア (9.6)	インドネシア (14.0)	カメルーン (7.6)
4位	インドネシア (7.6)	ホンジュラス (5.2)	ナイジェリア (6.3)	ナイジェリア (7.3)
5位	エチオピア (4.8)	ドイツ (4.5)	エクアドル (5.1)	エクアドル (6.6)

まとめ　作物栽培の難しい，半乾燥地域を中心に牧畜が発達している。
日本とニュージーランドは季節が逆であり，ニュージーランドの夏につくられたカボチャを日本の冬に輸入できるから。

第６講　PART３　確認問題

1 小麦の貿易について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 小麦の主な輸出国は先進国であり，主な輸入国は発展途上国である。
② 小麦の生産量の２～３割が輸出され，商品作物としての面がある。
③ 小麦と米とでは，小麦の方が輸出量が多い。
④ 小麦の世界第１位の生産国と輸出国は，ともにアメリカ合衆国である。

2 米の世界第２位の生産国はどこか。

① インド　② インドネシア
③ タイ　④ ベトナム

3 トウモロコシについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 食料としての用途が大半である。
② 輸出量は総生産量の５割未満である。
③ 近年は，アメリカ合衆国などでバイオエタノールとしての需要が高まっている。
④ アジアで最も生産量が多い国は中国である。

4 大豆の世界第１位の生産国かつ輸出国である国はどこか。

① アメリカ合衆国　② アルゼンチン
③ 中国　④ ブラジル

5 肉類の貿易などについて述べた以下の文のうち，正しいものはどれか。

① 牛肉の主な生産国はドイツ，フランスなどヨーロッパ諸国である。
② ヒンドゥー教徒が多いインドでは牛肉の生産量は少ない。
③ 豚の飼育頭数が最も多い国はアメリカ合衆国である。
④ 日本の鶏肉の最大の輸入相手国はタイである。

6 牛の飼育頭数が最も多い国はどこか。

① アメリカ合衆国　② アルゼンチン
③ インド　④ ブラジル

7 野菜や花卉の貿易について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 鮮度が重要な野菜の貿易量は，近年の輸送技術の向上により貿易量が増えている。
② 野菜の中でも重量当たりの単価が高い品目は，航空機による輸送が行われている。
③ 航空機輸送によるケニアからヨーロッパへの花卉の輸出が増えている。
④ 日本の冬においては，主にメキシコから輸入されたカボチャが市場に出回る。

8 カカオの最大の生産国はどこか。

① インドネシア　② コートジボワール
③ ナイジェリア　④ ブラジル

第６講　PART３　確認問題 解答

1 解答：④
小麦の世界第１位の**生産国**は**中国**，世界第１位の**輸出国**は**ロシア**である（2019 年）。

2 解答：①
米の主生産地はモンスーンアジアで，世界第１位の**生産国**は**中国**，２位は**インド**，３位は**インドネシア**である（2019 年）。

3 解答：①
トウモロコシはメキシコなどでは食用として生産されるが，世界全体での主な貿易の目的は**飼料用**である。

4 解答：④
ブラジルは**大豆**の世界第１位の**生産国**かつ**輸出国**である（2019 年）。ブラジルでは，中国での需要増を背景に，耕地が拡大している。

5 解答：②
ヒンドゥー教では牛は聖なる動物とされ，ヒンドゥー教徒は牛肉を食べない。ヒンドゥー教徒が多い**インド**では**牛肉の生産量は少ない。**①は誤文。牛肉の主な生産国はアメリカ合衆国，ブラジルである。③も誤文。豚の飼育頭数が最も多い国は中国である（2019 年）。④も誤文。日本の鶏肉の最大の輸入相手国はブラジルである (2019 年)。

6 解答：④
牛の飼育頭数が最も多い国は**ブラジル**（2019 年）。ブラジルにおいてはカンポが牛の飼育の中心地であり，牛肉が大量に生産される。

7 解答：④
日本の冬において市場に出回るカボチャは，主に**ニュージーランド**から輸入されたカボチャである。日本とニュージーランドは季節が逆であることによる。

8 解答：②
カカオの最大の生産国は**コートジボワール**である（2019 年）。コートジボワールでは，旧宗主国のフランスの資本によってカカオの栽培が始められた。